

なんもく・山村ぐらし通信

年が明けて早2月ではありますが、この通信を読んでいる方へ明けましておめでとうございます。この通信のご愛読に感謝申し上げますとともに、昨年同様に、この協議会の活動へのご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。(会長・金田)

オウ東京さ行って来ただっ！

～昨年の移住相談会に参加して～

県が、そして路上では愛知県がブースを設け、相談会や物産展を行っており、地方が抱える共通の課題を感じたものです。この日は多数の地方県による相談会が重なったせいか、来場者数もやや少なく感じました。その中で南牧村のブースを訪ねてきてくれたのは5組7名で、そのうち2組は事

中にはこの講演を聴き、移住に前向きになったという方もおられ、少ないながらもまずまずの手応えを感じたものです。そして12月5日、今度は新潟 福島 茨城 栃木 群馬の5県合同の移住相談会が前回と同じ会場で開催されました。南牧村のブースには5組

です。これから殆どの方が具体的な内容で相談に来られていました。多かった相談内容は「仕事場所」「物件への修繕費用」「インターネット環境の整備具合」などでした。全ての地方が、ほぼ切れ目なく大都市圏で移住相談を行っている昨今。この2



TVの取材を受ける“チーム南牧”



真剣なまなざしで説明をする担当職員
いまにも相談者を村に連れて帰りそうな気迫を感じます。

回の相談会で訪れた方々の中には、前出の様に「南牧村」を目当てに来られた方もいました。し、他の市町村と比較した上で来られた方もいたようです。理由は、交通や医療な

どの面で劣っているにしても、南牧村が「大」を引きつける魅力は決して劣ってはいない！そんな心強い応援をいただいたような気がした相談会参加でした。

金田鎮之特派員

あとふた月もすれば、この村に来て13年目を迎えることになり、東京で過ごした20年に次ぐ月日をこの南牧村で過ごすことになりました。お陰様で3人の子供たちもそれぞれ成長し、当時、生後半年だった末っ子長男もこの春には南牧中学校に入学の予定。小学校を卒業できればの話。いつの間にかこんな・・・というのが実感でしょうか。当時、すでに小学校は1校でしたが、児童数はそれでも90名以上居たように記憶しています。現在の児童数6学年全部たしても26名ですか

我・想・明・村

～磐戸地区在住・かたじ屋さとう～

ら、大変なペースで減少してきたことになりました。状況は年々変化をしてくいていますが、取り巻く環境は何もしなければ変わらないうままでいようとしています。以前のままの体制や以前のままの役割回り、変化している現状に則しているのかの判断をしないまま引き継がれようとする多くの役割があるように感じます。子どもたちの数に限らず、経年と共に

村人(むらびと)紹介

はじめまして！
星野恵里佳さん(25～31才あたり)
移住して一ヶ月。ピッカピカの新村人です！



年の初めから嬉しいニュースです。年明けから村人むらびと」の仲間入りをしたのは星野恵里佳さん。親しい人たちからは「ポピンちゃん」と呼ばれている星野さん

は桐生市の出身。編物作家として作品を制作しながら、現在は大日向のちよつとしたカフェでアルバイトを続けています。通い続けてきた南牧村でいろいろな人たちと出会い、なにか懐かしさを感じるような人の温かさに触れ、この村の村人になりたい！と飛び込んできたそうです。『この村の方々が暮らしの中で培い蓄えてきた自然と共に生きることの知恵と工夫を、少しでも身に着けることができれば嬉しい。』と語ってくれました。『どんど焼きでは地区の皆さんに紹介して頂き、とーつても楽しかったですよ！』と笑顔の星野さん。見かけたときには気軽に声をかけて下さいね。

2016(平成28)年2月発行
通巻第16号版(冬季号)

発行責任者：金田 鎮之
問合せ 南牧村役場
村づくり・雇用推進課
電話 0274-87-2011(代表)

紙面編集：協議会広報班
発行元：南牧山村ぐらし
支援協議会



協議会QRコード

協議会HP
<http://nanmoku.org/>
古民家バンク情報がサイトに
内に移設されました。

27年度10～12月空家間合件数

電話による問合せ7件
(10月 2件)
(11月 4件)
(12月 1件)
【参考】26年度年間78件

メール・手紙・FAXでの
問合せ11件
(10月 3件)
(11月 4件)
(12月 4件)
【参考】26年度年間49件

現地物件見学案内9件
(10月 5件)
(11月 3件)
(12月 1件)
【参考】26年度年間
空き家見学29件
来村・来庁 35件

